

10月
25

小出麻代

美術家

展覧会の設営が予定より早く終わり、昨日までの緊張感が一気に抜けた体を引きずりながら電車に乗り込んだ。滅多に乗ることのない時間帯の電車内では、いつもよりゆつくりとした時間が流れているように思えた。窓から見えるのは、黄金色に光った畑と、オレンジと青の混ざった空。そこに時折、畑から上がる白煙が混ざる。こんなに身近なところにも見惚れるような景色がある。こういう時間帯のことをマジックアワーと言うらしいけど、そう名付けた人が見た景色はどんなものだったのかと、半分目眩りながら想像した。